

1 カ月の短期海外研修を終えて

英語英米文学科 1 年

中満 悟

1. はじめに

私を含めた 10 人の熊本県立大学生は 2 月 19 日から 3 月 19 日まで、アメリカのモンタナ州立大学ビルングス校の ESL (English as a second language) プログラムを通して英語を勉強しました。この報告書の中で、本研修について述べさせていただきます。

2. 大学生活

私達は基本的に月曜日から木曜日の午前 9 時から午後 2 時まで英語の授業を受け、その後や金曜日は様々なアクティビティに参加しました。日英バイリンガルの職員の方に同行していただいていたのですが、もちろどこにいても英語漬けで、理解できなかったこともそれだけ多くありました。しかし毎日が新鮮で楽しく、日本では経験できないようなことばかりでした。

| Sunday | Monday | Tuesday 2/19 | Wednesday 2/20 | Thursday 2/21 | Friday 2/22 | Saturday 2/23 |
|------------------|--|---------------------------------------|---|---|--|---|
| | | Arriving in Billings JA5185 5:18PM | 10:30AM Orientation 11:00AM Campus Tour (Meet at McMiller) 12:00PM Lunch 1:00PM Placement Test SUB 153 West Classroom 3PM Dismiss 5:00 PM Cultural Presentation Library 311 | 9AM-2PM English 2:30-3PM Intro to Billings and Montana 3PM-3:30PM Get MSUB ID cards 4:00 PM- 5:00 PM UCM Coffee - Conversation SUB Upper Galleria | 9AM-1:30PM American cooking with Linda 2PM-4PM Bowling 4:30 Pickup 7:00 PM Laser Tag at MSUB Library | Host Family Time |
| 2/24 | 2/25 | 2/26 | 2/27 | 2/28 | 3/1 | 3/2 |
| Host Family Time | 9AM-2PM English 2:30PM-4:30PM City Hall, visit Mayor | 9AM-2PM English | 9AM-2PM English 2:30PM Visiting MSUB Library Student Recitals 3PM-4:15PM Cafe Recital Hall 5:00PM Cultural Presentation Library 311 | 9AM-2PM English 4:00 PM- 5:00 PM UCM Coffee - Conversation SUB Upper Galleria 7:00PM MSUB Women's Basketball vs. Concordia- Alterowitz Gymnasium | 10AM Walking tour downtown Billings Lunch-The Burger Dive 2:30 PM -4:00 PM Art & English YAM 4:30 Pickup | Host Family Time 7:00PM MSUB Women's Basketball vs. Simon Fraser- Alterowitz Gymnasium |

3. クラスメイト

私のクラスは少人数かつインターナショナルで、クラスメイト 5 人のうち 2 人は日本、他 3 人はトルキスタン、ウクライナ、サウジアラビア出身でした。クラスメイト全員が英語を学習中で、リングフランカである英語を用いてお互いの国や文化などについて理解を深めました。そこにはネイティブスピーカーと話すこととはまた違った楽しさがありました。

4. 授業内容

午前と午後で授業内容と先生が変わり、主にスピーキングとライティングを重点的にトレーニングしました。午前中の発音トレーニングでは、発音に関する様々な資料を用いながら舌や口の動きを常に意識して発音練習し、先生に一人ずつチェックしていただきました。時には英語の早口言葉 (Tongue Twister) で発音練習をしました。これは英語の 1 つのライティングツールとして非常に効果的だと感じ、これからも続けていこうと考えています。午後の授業では初めに、様々なトピックについて英作文を書きました。中には自国の民族衣装について書くこともあり、自国のことを英語で説明する難しさを何度も経験しました。英作文

の後は英語の曲を聴き、その歌詞上の単語やフレーズについて考えたり意見を交わしたりして、英語への理解を深めていきました。日本ではしたことのない英語の勉強法だったので、違った面白みがありました。そして、ESL最後の授業では、日本についてのグループプレゼンテーションをしました。パワーポイントやジェスチャーなどを用い、様々な道具、手段を使って何とか2時間のプレゼンを終えました。聞き手参加型のインタラクティブなプレゼンは人生初体験で、かつてない達成感を得ました。

5. 私が普段意識していたこと

1つ目に、私は英語を出来るだけ多く口に出すことで、知識のインプットだけでなくスピーキング力の向上にもつながると思い、ネットで調べれば分かるような些細なことでも、ホストファミリーや先生に質問をしました。結果的に、よりホストファミリーや先生と仲を深めることにも繋がったと思います。2つ目に、分からない英単語などのメモを出来るだけ多く取りました。私のホストファミリーは動物や自然が好きで、vertebrate「脊椎動物の」などの難単語も会話で普通に出てきました。分からない英単語のスペルを尋ねてメモをしていたので、その単語がもう一度出てきたときに「あっ！」と認識できたことが何度もありました。また、映画を見てもわからない英単語や表現が出てきたらメモをとり意味を英英辞典でひたすら調べました。これは日本でも出来ることなので続けていきたいと思います。

6. ある先生の一言

授業中ある先生に“You're bilingual, Satoru.”(君はバイリンガルだよ)と言われましたが、私は自分がバイリンガルだとは思ったことがないためひどく困惑しました。また、同時にバイリンガルであるという判断基準はどこから来るのか疑問に思いました。英語を教えることが出来る、日常会話で問題なく英語でコミュニケーションが取ることが出来る、英語音声で映画を理解出来る、TOEIC・TOEFLで高得点を取ることが出来るなど、様々な基準があると思います。しかし、それらは全て自己満足であり、私は自己満足で英語の学習をやめたくありません。今までの自分は、定期テストの結果や周りの評価などに満足して学習を怠っていました。おそらく研修生の多くも経験したかと思いますが、私は滞在中に何度も多くの方々から自分の英語に関してお褒めの言葉をいただきました。そして、それらはモチベーションの向上にももちろんつながりました。しかし、決して満足することなくこれからもさらなる学習を続けていきます。

7. 「これをしてあげばよかった」ということ

いつでもどこでも日本について質問を受けることがあり、本研修を通して日本という国について毎日考えさせられ、もっと日本のこと、故郷のことについて英語で説明できるようになってあげばよかったと思いました。中でも、日本の政治について意見を求められた時は、全く自分の意見を言うことが出来ませんでした。普段からただ新聞を読んだりニュースを

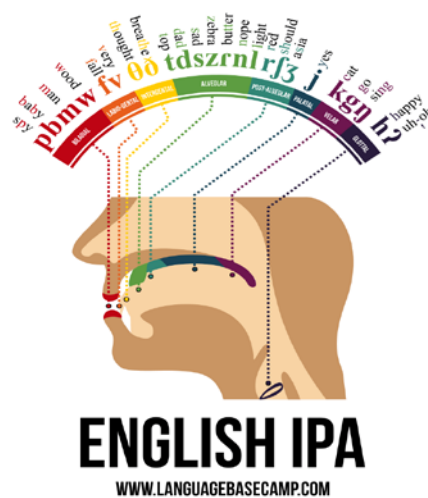
見たりするだけでなく、考えたことや知らなかったことや気になった記事を英語でまとめることから始めてみようと思います。

7. 最後に

1 か月で英語をマスターすることは困難ですが、この ESL プログラムは私の英語のレベルを上げてくれてくれたと同時に、海外留学をさらに志すきっかけとなり、今までの自分を別の新たな視点で見つめることが出来ました。本研修を支えて下さった方々への感謝の気持ちは言葉に余るほどです。本当にありがとうございました。



(卒業)



(英語の発音の資料)